



発行：なごやか地域福祉 2020 推進事務局

令和2年度にコロナ禍のただ中でスタートした『なごやか地域福祉2020』も、今年度で3年目となりました。

昨年度までは書面開催を余儀なくされていた、計画の進行管理についての取り組みも、令和4年度はようやく対面開催となり、関係機関が顔を合わせて意見交換等を行い、連携を深めることができました。今回のニュースでは、令和4年度の取り組みをふりかえります！

10月

「地域福祉のすめ」を開催
(令和4年10月25日)

地域福祉のことを知り、考えてもらうためのイベントだよ！毎年開催しているから、みんなもぜひ来てね！

11月

ワーキンググループを開催
(令和4年11月9日)

関係機関で集まると、顔が見える関係になって、協働したいときにも声をかけやすくなるね！

12月

幹事会を開催
(令和4年12月15日)



1月

「地域福祉に関する懇談会」を開催 **NEW!**
(令和5年1月6日)

「なごやか地域福祉 2020」がスタートして初めて、対面での開催となりました。地域福祉に関する取り組み内容や実績、コロナ禍での対応等について報告を行い、懇談会委員のみなさまから多くの貴重なご意見を頂きました。重層的支援体制整備状況については、実施計画の策定状況を報告するとともに、南区の包括的相談支援チームから、実践報告を行いました。

委員のみなさまからいただいたご意見の一部をご紹介します！

- ・コロナ禍でふれあい給食の実施方法を会食から配食に変更したことにより、利用者が増加し、見守り機能が強化された。
- ・地域の支え手を育む取り組みとして、様々な地域住民や資源を活用したイベント開催している。
- ・福祉教育は将来の福祉介護の人材育成のための重要な課題。コロナ禍においても子どもたちの参加機会を確保するため、多様な参加方法の検討や、市による包括的な周知が必要。
- ・ボランティア活動等の参加促進として、働いている人たちをターゲットとした戦略の検討や、調査ができることよい。参加方法としてのオンラインを検討することも有効ではないか。
- ・今後は専門職による支援だけではなく、地域団体の関わりについて協議してけるとよい。

公式ホームページでは、計画の推進状況をお知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



包括的相談支援チーム、順次拡大していきます！ (重層的支援体制整備モデル事業の実施)

vol.3



令和3年4月、社会福祉法の改正により「重層的支援体制整備事業」が位置づけられました。これは、8050 問題など複合的な課題を抱えている等の世帯に対し、『高齢』『障害』『児童』といった属性や世代を問わず包括的な相談支援を行うことができるよう、順次、各区に「包括的相談支援チーム」を設置していく予定です。

様々な機関のとりまとめを行ったり（協働の中核機能）、「困った！」「助けてほしい！」と言い出せない方や人との関わりを持つことが苦手な方に対しその方の気持ちに寄り添いながら“はじめの一歩”として接したり（アウトリーチ）、地域とのつながりづくりや様々な場への参加ができるように関わったりする（参加支援）役割が期待されています。

令和4年4月から、北区・西区・中村区・南区の4区で試行的にはじめていますが、今回は中村区での取り組みを一部ご紹介します。

【中村区の取り組み】

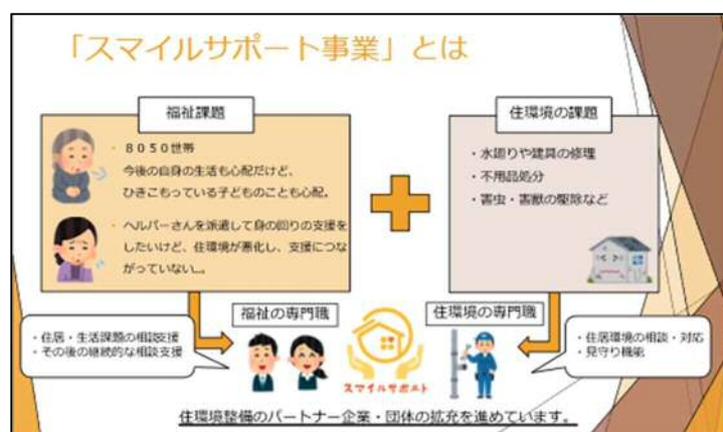


中村区は、築年数が古い家屋が多く、いざ福祉サービスを利用しようとしても住環境が悪化していて導入することができないといった区特有の課題がありました。そこで、中村区生活支援連絡会で検討し、中村区社協の独自事業として「スマイルサポート事業」を創設しました。

中村区の重層的支援体制整備事業では、生活課題を抱えていても既存の制度では支えることができない方、支援を拒否されている方などの支援を行う中で、スマイルサポート事業を活用し、水廻り・建具の修理・不用品処分・害虫駆除等の住環境整備の相談をきっかけに世帯にアプローチし、その後の継続的な生活の相談支援を行っています。

実際に、給湯器の補修をきっかけに 8050 世帯の支援につながったケースもあり、住環境の困りごとを切り口にする話がしやすくなり、支援に拒否的な世帯へのアウトリーチのきっかけづくりにもなっています。

また、本事業を通じて、多機関で協働する機会も多く、改めて一つの機関で抱え込まず、相談できる顔の見える関係づくりや各機関の強みや関わり方の役割分担を整理することが、今後の包括的な相談支援体制につながっていくことがわかりました。



名古屋市では全区での実施に向けて、地域の状況を踏まえ、順次準備を進めていきます。



【編集・発行】 名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課・名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367